

移住・起業家 インタビュー

◆ 岐阜市

QQ実験所

片山 輝さん 千鶴さん



上：片山さんご夫婦
下：QQ実験所(店舗)

山口県出身の片山輝さんと岐阜県岐阜市出身の片山千鶴さん。二人とも、東京で暮らしの道具を扱う会社の卸部門で働いていましたが、いずれは二人で独立をしたいと思っていた頃、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で東京での生活がとても窮屈に感じるようになり、地方移住を考えるようになりました。

ゆかりのあるどちらかの出身地に移住しようと考え話し合った結果、商売をするなら関東にも関西にも行きやすい岐阜県が良いとなり、東京の有楽町にある「ふるさと回帰センター 清流の国ぎふ 移住・交流情報センター」へ行き、相談や物件探しをされました。

そんな中、岐阜市でお店を経営している友人から店の向かいの物件が空いたと知らせがあり、見に行くとても良かったので即決。トータル約25年の東京生活を終え岐阜県岐阜市へ移住されました。



◆ 起業のきっかけは？

新型コロナウイルスの感染拡大で、仕事のあり方や自分たちの生活などいろいろなことに不安や疑問を感じて、会社から独立して自分たちで仕事を作っていく生き方をしたいなど思いはじめた頃、良いタイミングでお店ができる良い物件があったことが最大のきっかけでした。

また、岐阜市の柳ヶ瀬商店街で毎月行われるサンデービルディングマーケットなどのイベントや岐阜県内色々なところでマルシェなどが行われており、岐阜県外からも人が集まる場所が色々あり、その様なところに参加して宣伝していくことにより集客もしやすいのではないかと期待が大きかったです。



◆ どのような事業をされていますか？

鶯飼いで有名な観光地である岐阜市の長良地区に小さなお店を構えています。岐阜や日本全国、世界各地の手工芸品や日用品を集め地元客、観光客、両方が集い交流できる場を目指しています。

岐阜県内には、今のSDGs時代に求められる昔ながらの素晴らしい竹籠やざる等の手工芸品や小さな町工場で作られている日用品、昔から変わらない製法の薬草やお茶などを作られている方がまだまだたくさんいらっしゃいます。

素晴らしい商品があるのに販売するところが少なく、このような商品を作る職人も今では高齢化が進み、このままでは技術が途絶える可能性もあります。

東京で勤務していた会社は、日本や海外からこのような手仕事のものを集め、国内外に卸す仕事をしていたので、今までの経験を活かして岐阜のものや日本全国、海外のものまで、まだまだ残っている手仕事の物を探して販売しています。



◆ 活用された補助金は？

「岐阜県地域課題解決型起業支援金」と「移住支援金」です。移住支援金は申請しようと思っていたのですが、勉強不足で私たちの様な就職ではなく、起業する人達が、岐阜市の移住支援金を申請するには、県の地域課題解決型起業支援金の申請を通らないといけないと聞き、急いで準備を始めました。最初は、岐阜市のぎふメディアコスモスの中央図書館内にある岐阜県よろず支援拠点で相談し、その後、岐阜県産業経済振興センターで色々細かく教えていただき、なんとか申請することができ採択していただくことができました。お世話になった方々に感謝です。

◆ 移住・起業を検討されている方々へのアドバイス

できれば移住する前に県内の色々な市や町を見てまわり、自分に合う場所を探されると良いと思います。私たちが借りた場所は、もともと商店街だったので、近所の方にも新しく商売をするお店に抵抗がなく受け入れていただけました。支援金については、のんびりしすぎて、かなりギリギリのタイミングで申請をしたため、限られた時間で限られたことしかできませんでした。もっと早く計画を立ててやればよかったと思っています。

起業支援金の交付決定を受けた方は、移住支援金(単身者:60万円、世帯:100万円)を受給申請することができます。詳しくは、移住先市町村の担当窓口へご相談ください。